

平成25年度 しまね学力向上プロジェクト 「夢実現進学チャレンジセミナー」 実施要項

- 1 目的 医学部、法学部等の難関大学・学部に進学希望を持つ生徒に対して、進路目標を実現できるよう支援する。
- 2 主催 島根県教育委員会
- 3 共催 島根県健康福祉部医療政策課
- 4 協力 島根大学医学部・島根大学大学院法務研究科・島根県弁護士会・島根県高等学校進路指導協議会
- 5 主管 島根県教育庁高校教育課
- 6 期日 平成25年8月5日(月)～8日(木)(3泊4日)
- 7 会場 島根県立青少年の家(サン・レイク)(出雲市小境町1991-2 TEL 0853-69-1316)
- 8 対象 県内高等学校2年生で、医学部や法学部等の難関大学・学部への進学を希望している生徒。全県から理系40名、文系30名を上限として参加生徒を募集する。
- 9 参加費 生徒個人負担金(食費・シーツ代・保険料・教材費等) 1人 6,500円

10 日程・内容

8月5日(月)	10:30～11:00	受付	
	11:00～11:15	開講式	
	11:15～12:00	オリエンテーション(高校教育課)	
	12:00～13:00	昼食	
	13:10～14:40	講演(講師 認定NPO法人子ども・宇宙・未来の会会長 的川 泰宣 氏)	
	14:50～15:50	授業1(数学1時間目)(講師 県外教員)	
	16:00～17:00	授業2(英語1時間目)(講師 県外教員)	
	17:00～18:00	夕食	
	18:00～19:30	生徒交流会	
	19:30～21:00	入浴	
	21:00～22:00	自習	
	22:30	消灯・就寝	
8月6日(火)	9:00～10:00	授業3(英語2時間目)(講師 県外教員)	
	10:00～10:50	授業4(英語3時間目)(講師 県外教員)	10:00～12:00
	11:00～12:00	授業5(英語4時間目)(講師 県内教員)	教員対象授業セミナー(数学①)
	12:00～13:00	昼食	
	13:00～14:00	授業6(数学2時間目)(講師 県外教員)	13:00～15:00
	14:00～14:50	授業7(数学3時間目)(講師 県外教員)	教員対象授業セミナー(英語)
	15:00～16:00	授業8(数学4時間目)(講師 県内教員)	16:00～17:00
	16:00～17:00	自習	教員対象授業セミナー(数学②)
	17:00～19:00	夕食、入浴	
	19:00～22:00	自習	
	22:30	消灯・就寝	
8月7日(水)	【理系】		【文系】
	7:55～8:45	島根大学医学部へ移動	8:00～8:30 島根大学法務研究科へ移動
	8:50～17:30	講義・医療体験実習	9:00～12:00 文系プログラムⅠ
			12:00～12:30 サン・レイクへ移動(バス輸送)
	17:30～18:15	医学の扉(講話)	12:30～13:30 昼食
	18:15～19:30	夕食・懇談会	13:30～16:00 文系プログラムⅡ
	19:30～20:30	サン・レイクへ移動(バス輸送)	16:15～17:15 授業9(国語1時間目)
	20:30～21:30	入浴	(講師 県内教員)
	21:30～22:00	自習	17:15～19:00 夕食・入浴
	22:30	消灯・就寝	19:00～22:00 自習
			22:30 消灯・就寝
8月8日(木)	9:00～10:00	授業10(国語2時間目)(講師 県外教員)	
	10:00～10:50	授業11(国語3時間目)(講師 県外教員)	
	11:00～12:00	授業12(国語4時間目)(講師 県内教員)	
	12:00～13:00	昼食	
	13:00～13:45	閉講式	13:00～15:00
			教員対象授業セミナー(国語)

夢実現進学チャレンジセミナー 基調講演

講演 平成25年8月5日(月) 13:10~14:40
於 島根県立青少年の家(サン・レイク)

演題 「現代の若者とこれからの日本」

講師 認定NPO法人子ども・宇宙・未来の会
会長 的川 泰宣(まどがわ やすのり)氏
(宇宙航空研究開発機構(JAXA) 名誉教授)

【主な経歴】



1942年 2月 広島県呉市に生まれる。
1965年 3月 東京大学工学部航空学科宇宙工学コースを卒業
宇宙工学コース第一期生。
1970年 3月 東京大学大学院工学研究科航空学科専攻博士課程を修了、工学博士。大学院在籍時は糸川英夫博士に学び、日本初の人工衛星「おおすみ」の打ち上げにも参加。
東京大学宇宙航空研究所(1981年に宇宙科学研究所、2003年に宇宙航空研究開発機構(JAXA)に変更)に入所。教育・広報統括執行役、同宇宙科学研究本部対外協力室長を経て、現職。
この間、ミューロケットの改良、数々の科学衛星の誕生に活躍し、1985年、ハレー彗星探査機「すいせい」の打ち上げ計画に中心的なメンバーとして尽力。2005年には、JAXA宇宙教育センターを先導して設立、初代センター長となる。2008年6月NPO法人「子ども・宇宙・未来の会」(KU-MA、クマ)を設立、会長に就任。

【現職】

認定NPO法人子ども・宇宙・未来の会会長
宇宙航空研究開発機構(JAXA)名誉教授、教育・広報アドバイザー、技術参与
日本宇宙少年団理事
東海大学教授
日本学術会議連携会員
国際宇宙教育会議日本代表

【主な著書】

- 『この国とこの星と私たち - 喜・怒・哀・楽の宇宙日記4』(共立出版2012年12月)
- 『的川博士の銀河教室』(毎日新聞社2012年6月)
- 『宇宙ロケットのしくみ』(誠文堂新光社子供の科学サイエンスブックス2011年1月)
- 『「はやぶさ」物語』(NHK生活人新書2010年10月)
- 『小惑星探査機「はやぶさ」の奇跡 - 挑戦と復活の2592日』(PHP出版2010年9月)
- 『逆転の翼 - ペンシルロケット物語』(新日本出版社 2005年11月)
- 『宇宙からの伝言 - いのちを大切にすること -』(数研出版 Chart Books Special 2004年12月)
- 『やんちゃな独創 - 糸川英夫伝 -』(日刊工業新聞社B&Tブックス 2004年5月)
- 『「宇宙の謎」まるわかり - 宇宙の果て・ブラックホール・宇宙人・宇宙旅行、四つの疑問をやさしく解説』(PHP文庫 2002年1月)
- 『月をめざした二人の科学者 - アポロとスプートニクの軌跡』(中央公論新社 中公新書 2000年12月)
- 『宇宙に取り憑かれた男たち』(講談社 講談社プラスアルファ新書 2000年7月)
- 『ロケットの昨日・今日・明日』(裳華房 ポピュラーサイエンス 1995年7月)
- 『飛び出せ宇宙へ』(岩波書店 岩波ジュニア新書 1992年8月)
- 『星の王子さま宇宙を行く - 小田稔からのメッセージ』(同文書院 The Prominent Series 1990年8月)
- 『ハレー彗星の科学』(新潮社 新潮文庫 1984年1月)

その他、著作多数

専門分野は、システム工学、軌道工学。大学院時代より科学観測のためのロケット及び人工衛星の飛行計画の策定に従事して、人工衛星打ち上げ用ロケットの設計に一貫して御活躍であり、小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトの主要メンバーとしてもよく知られている。一方で、宇宙科学における国際協力の発展に伴ってその窓口となるとともに、広く国民・少年少女に対する宇宙をテーマとする教育・普及活動を行ってこられた。「宇宙」を介して子どもたちが育つ家庭、地域の絆を深めようと社会教育活動に邁進し、「宇宙教育の父」と呼ばれている。

日本各地の学校教育や社会教育の現場と連携する活動においては、宇宙をきっかけに世界に貢献できる人間を輩出したいとお考えから、単なる理科教育ではなく、「宇宙」から受ける豊かで多面的な心を育ててゆくことを念頭に置いて、「宇宙」をテーマに心と心が繋がることを目指していらっしゃる。

講演では、宇宙開発の技術的側面だけでなく、歴史的な視野に立って日本が抱えていた問題を捉え直し、東日本大震災が提起する課題を浮き彫りにすることで、過去・現在から繋がっていく未来の世界像へと参加生徒を誘い、21世紀を生きる者として何ができるのか語り合う。